

H24年度清掃関連予算と主要事業について

資料 2

■平成24年度予算

(単位:千円)

項 目	予算額	内 容	
清掃総務費	82,113	清掃施設管理、審議会経費、生ごみ処理助成、資源回収奨励金、協力金、啓発関連等	
ごみ処理費	599,031	ごみ収集運搬委託料、指定ごみ袋・処理券関連、適正排出指導、不法投棄対策等	
し尿処理費	70,963	し尿収集運搬委託等	
複合事務組合費	ごみ中間処理費	719,830	ごみ及びし尿処理施設の管理運営費分担金等
	ごみ最終処理費	280,664	
	し尿処理費	36,890	
	計	1,037,384	
合 計	1,789,491		

■主要事業

○ごみ減量及び資源化の促進

- ・町内会等による資源集団回収の推進
- ・行政による資源回収(Sの日)
- ・生ごみ対策(生ごみ堆肥化容器、電動生ごみ処理機購入助成)

○啓発事業

- ・ごみ減量・資源回収促進月間(春、秋に実施)
春の「リサイクル広場(パネル展示等)」
秋の「リサイクルまつり(フリーマーケット等)」
- ・ごみ懇談会の実施 各種団体からの申し込みにより随時実施。
- ・エコエコ紙芝居 保育所、幼稚園等の各種団体からの申し込みにより随時実施。
- ・ゴミユニティメール ゴミ減量・リサイクルに関心を持ってもらえるような内容で、年2回全戸配布。
- ・環境学習支援事業 小学校に、清掃事業課職員と収集車が訪問し、体験型環境教育学習を行うことにより、子供たちにごみ問題を身近に感じてもらい、排出マナーを身につけてもらう。

○清掃指導等

- ・清掃指導 家庭系ごみの分別、出し方、飛散、ステーションにおける不適正排出ごみの調査・指導の実施。
- ・サポート事業 高齢や身体の障害、病気、けがなどの理由で、ごみをステーションに出すことが困難な世帯に対し、ごみの戸別収集を実施。

○小型家電リサイクルモデル事業 (期間：H23.7～H25.3末)

- ・モデル事業として、コミセンなどで回収を行い、資源化ルートや回収に関わる課題を把握する中で、資源化可能量や新たな分別体系の検討を進める。

新規事業

○カラスよけサークルの試作、検証。

- ・カラスよけサークルの試作(予算：4,000円×100個=400千円)
- ・カラスよけサークルの利用効果、耐久性等の検証
⇒飛散の多いごみステーションで利用してもらい、効果、耐久性等を検証し、市として推奨できるものを協働で創り出し、町内会への推奨、普及活動をしていく。